

2020年3月期 第1四半期決算概要

2019年8月1日

千代田化工建設株式会社

目次

1.	ハイライト	2
2.	業績概要	3
3.	受注高	4
4.	受注残高	5
5.	損益計算書項目	6
6.	完成工事高	7
7.	バランスシート	8
8.	通期業績予想の内訳	10
9.	主要プロジェクト現況	11

1. ハイライト

- ◆ **本業ベースの利益をしっかりと確保し、再生に向けて順調なスタート**
 - 営業利益91億円、純利益23億円(再生計画の約38%)を計上。
- ◆ **財務基盤を再生計画通り強化**
 - 第三者割当増資700億円の払込完了(7月1日)、債務超過を解消。
 - 三菱商事、三菱UFJ銀行からの融資パッケージ(総額1,100億円)を予定どおり締結。
 - 固定費削減努力も計画に即して継続中。
- ◆ **新たなリスク管理体制が着実に機能**
 - 手持案件の着実な遂行、並びにコスト管理強化を徹底。
 - リソース配分の適正化、体力とリスクのバランスに充分配慮した受注戦略を遂行。

2. 業績概要

単位: 億円

	19/3 1Q	20/3 1Q	前年 同期比	伸び率
受注高	773	333	△440	△56.9%
受注残高	6,249	9,541	3,292	52.7%
完成工事高	936	865	△72	△7.6%
営業利益	△34	91	125	-
経常利益	△32	37	69	-
純利益*	△37	23	60	-
為替レート	111 円/\$	108円/\$		

通期予想	達成率
5,500	6.0%
3,900	22.2%
120	75.6%
120	30.8%
60	37.9%
期首想定レート	
110円/\$	

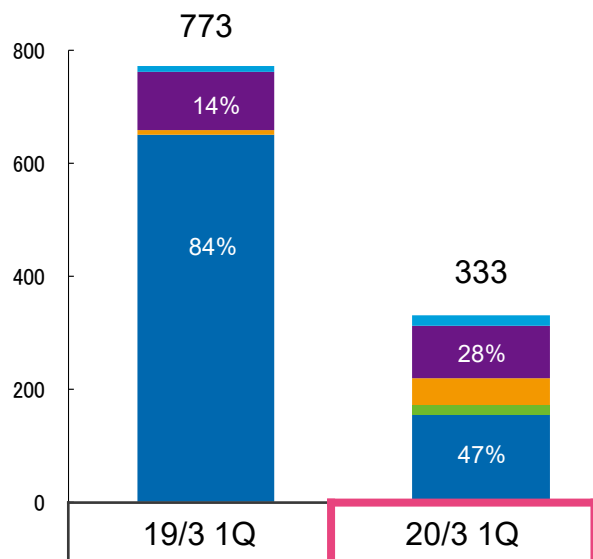
*親会社株主に帰属する四半期純利益

3. 受注高

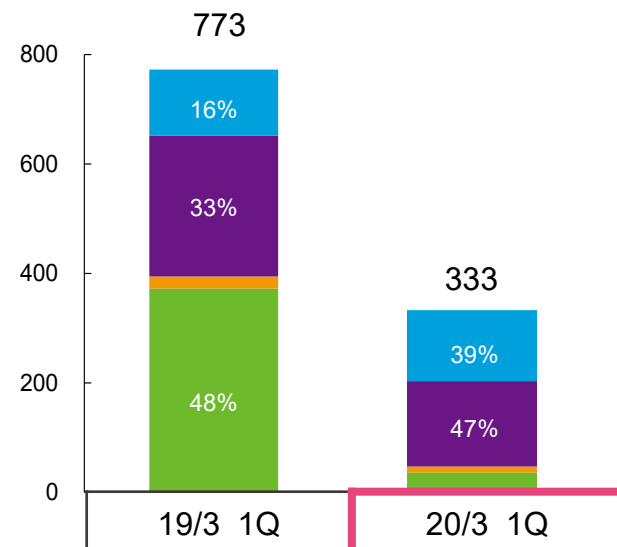
<地域別>

<分野別>

単位:億円



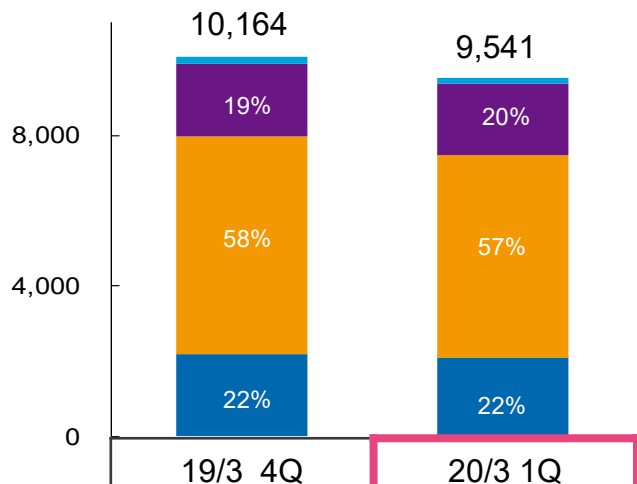
■ 中近東・アフリカ	9	19
■ アジア・オセアニア	104	93
■ 北中南米	9	47
■ その他	0	17
海外 合計	123	176
国内 合計	650	156



エネルギー	■ LNG・その他ガス	121	129
	■ 石油・石油化学・金属	258	156
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	22	11
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	371	36

4. 受注残高

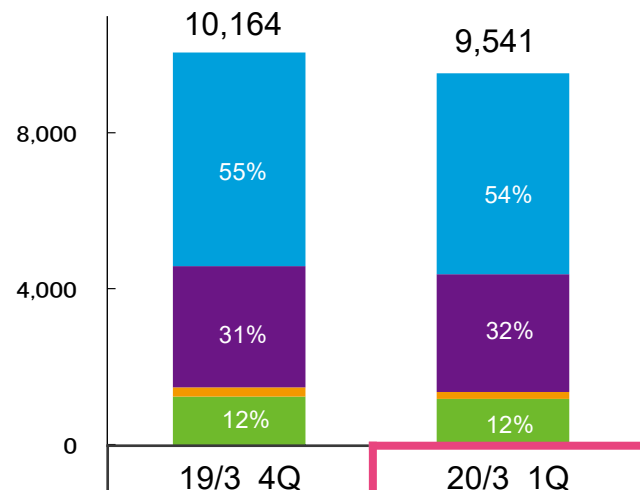
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	194	163
■ アジア・オセアニア	1,915	1,902
■ 北中南米	5,879	5,387
■ その他	1	1
海外 合計	7,988	7,453
国内 合計	2,175	2,088

<分野別>

単位: 億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	5,575	5,151
	■ 石油・石油化学・金属	3,111	3,035
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	240	177
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	1,238	1,178

<主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	テキサス・エチレン、ゴールデンパス LNG	タンゲーLNG、キャメロンLNG	イクシスLNG
国内	-	-	バイオマス発電、蓄電池システム建設、メガソーラー、石化案件

5. 損益計算書項目

単位: 億円

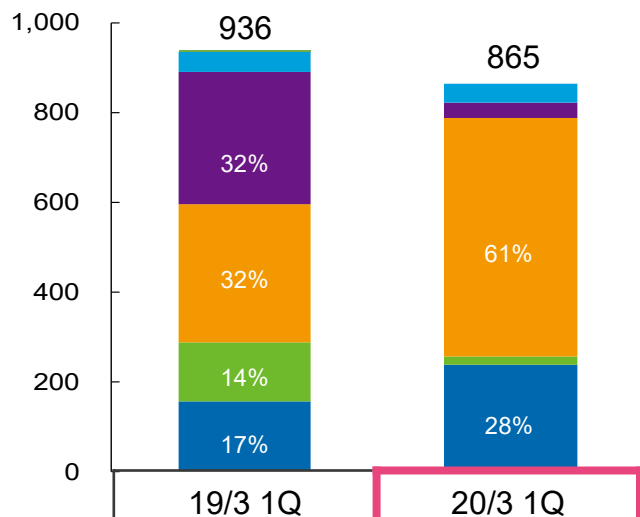
	19/3 1Q	20/3 1Q	前年同期比	通期予想
完成工事高	936	865	△72	3,900
完成工事総利益	9 0.9%	130 15.1%	122 +14.2pt	290 7.4%
販売費及び一般管理費	△42	△40	3	△170
営業利益	△34 △3.6%	91 10.5%	125 +14.1pt	120 3.1%
営業外損益*	2	△54	△56	0
経常利益	△32 △3.4%	37 4.3%	69 +7.7pt	120 3.1%
特別損益・税金・非支配株主に帰属する純利益	△5	△14	△9	△60
純利益**	△37 △4.0%	23 2.6%	60 +6.6pt	60 1.5%

注(*): 会計ルール上、単体の外貨建債権の為替による増減はPL/BSに反映されるが、関連会社の外貨建債務の為替による増減はPLに反映されず、BSだけに反映される。

**親会社株主に帰属する四半期純利益

6. 完成工事高

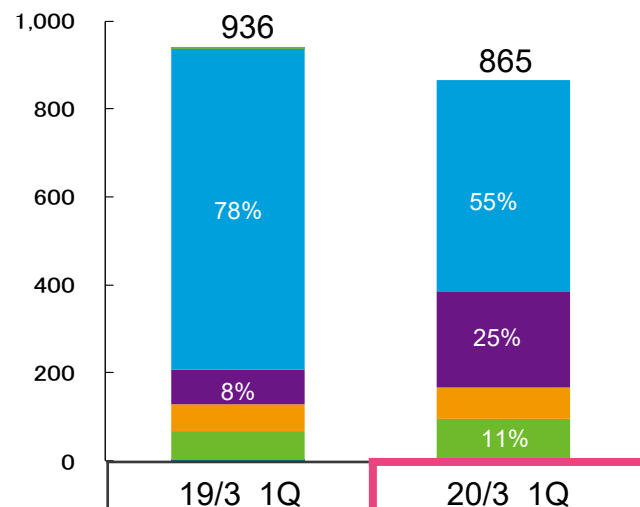
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	45	42
■ アジア・オセアニア	296	35
■ 北中南米	306	531
■ その他	132	17
海外 合計	779	625
国内 合計	157	239

<分野別>

単位:億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	732	479
	■ 石油・石油化学・金属	77	219
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	61	72
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	67	95

<主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	-	-	キャメロンLNG、テキサス・エチレン

7. バランスシート

単位: 億円

	19年3月末	19年6月末	増減
【流動資産】	3,269	3,307	38
現金及び預金等 *1	695	1,026	331
営業資産三勘定 *2	761	571	△190
未収入金	659	727	67
JV持分資産 *3	1,110	943	△166
その他	44	40	△4
【固定資産】	254	260	6
有形固定資産	117	129	12
無形固定資産	53	49	△4
投資等	84	81	△3
【資産】	3,523	3,567	44

	19年3月末	19年6月末	増減
【流動負債】	3,925	3,915	△10
短期借入金	1	301	300
営業負債三勘定 *4	2,975	2,777	△198
工事損失引当金	676	555	△122
その他	272	282	10
【固定負債】	190	201	11
長期借入金	159	158	△0
その他	31	43	11
【純資産】	△592	△549	42
株主資本	△609	△586	23
その他	17	37	19
【負債・純資産】	3,523	3,567	44

【注】

- *1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- *2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- *3 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- *4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

【自己資本】	△601	△556	45
【自己資本比率】	△17.1%	△15.6%	1.5pt

7. バランスシート（補足: 財務基盤強化の状況）

◆ 第三者割当増資700億円は7月1日払込完了、債務超過を解消済み。

◆ 融資

- 7月1日、三菱UFJ銀行から200億円の劣後ローン実行。
- 三菱商事から1Qに300億円の短期借入を実行後、7月返済。
→三菱商事からの融資枠900億円を確保。

【7月1日財務基盤強化実行後のバランスシート要約】

単位: 億円

	19年6月末	19年7月	増減		19年6月末	19年7月	増減
【流動資産】	3,307	3,907	600	【流動負債】	3,915	3,615	△300
内、現金及び預金等	1,026	1,626	600	内、短期借入金	301	1	△300
【固定資産】	260	260	0	【固定負債】	201	401	200
				内、長期借入金	158	358	200
				【純資産】	△549	151	700
【資産合計】	3,567	4,167	600	【負債・純資産合計】	3,567	4,167	600

8. 通期業績予想の内訳

単位: 億円

	19年3月期 実績	20年3月期 予想	前期実績比
受注高	7,716	5,500	△2,216
海外	5,750	4,300	△1,450
国内	1,965	1,200	△765
完成工事高	3,420	3,900	480
海外	2,216	2,500	284
国内	1,204	1,400	196
完成工事総利益	△1,811	290	2,101
販売費及び一般管理費	△186	△170	16
営業利益	△1,998	120	2,118
営業外損益	68	0	△68
経常利益	△1,930	120	2,050
特別損益・税金・ 非支配株主に帰属する当期純利益	△219	△60	159
純利益*	△2,149	60	2,209

*親会社株主に帰属する当期純利益

9. 主要遂行中案件の現況(1/2)

プロジェクト	フリーポート LNG	キャメロン LNG	タングー LNG
顧客	Freeport LNG	Cameron LNG LLC	BP Berau
進捗率	約99% (Train-1, Train-2) 約94% (Train-3)	約94%	約58%
現況 (6月時点)	<ul style="list-style-type: none"> 約5,100人の労働者が建設工事に従事している。 Train-1は9月までのLNG生産開始に向け、試運転準備作業中。 Train-2は10-12月、Train-3は2020年1-3月にLNG生産開始を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客との交渉が決着し、納期等を再設定。 Train-1からのLNG出荷開始。 Train-2からのLNG生産開始は2020年1-3月、Train-3は同4-6月を予定。 約7,600人の労働者が建設工事に従事。 	<ul style="list-style-type: none"> 約7,500人の労働者が建設工事に従事。 新たな契約条件につき、7月に顧客との合意に至る。予定納期は2021年7-9月。

9. 主要遂行中案件の現況(2/2)

プロジェクト	ゴールデンパスLNG	テキサス・エチレン
顧客	Golden Pass Products	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)
進捗率	約2%	約30%
現況 (6月時点)	<ul style="list-style-type: none"> 顧客エンジニアチームがCGHに常駐を開始。エンジニアリング業務が本格始動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国ヤードでのモジュール製作が始まっている。 顧客が当局からの環境関連許可を取得し、現場工事に着手した。

<参考情報>

JVパートナー	Zachry / McDermott	Kiewit
契約形態	Lump sum	Lump sum
生産能力	1,560万トン (3系列)	180万トン (世界最大級)

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報・CSR 部

Tel. 045-225-7734

<https://www.chiyodacorp.com/jp/>



© Chiyoda Corporation 2019, All Rights Reserved.

